



# 学校だより



令和8年6月30日  
江戸川区立新田小学校  
第4号

## 運動会を振り返って

校長 鈴木 剛司

5月30日は、天気にも恵まれ、無事に運動会を終えることができました。運動会後には、たくさんの方にアンケートに答えていただき、励ましや感謝の言葉、子供たちの頑張り等を伝えてくださり、とても勇気をいただきました。来年に向け、課題となるご意見もいただきました。様々な視点のご意見は、学校として気付いていないこともあり、来年度の参考にさせていただきたいと思いました。ありがとうございました。

また、課題の中から、現在の学校の状況から難しいこと、運動会の目的、さらに今後は変えていけないといけないこともあり、ここで伝えさせていただきます。

### ◎「観覧席のマナーや場所」「写真やビデオ撮影場所（児童席側）」について

昨年度からPTA活動については見直しが図られ、行事におけるお手伝いをできるだけ減らし、学校で対応しています。観覧席（優先席）については、副校長から常に交代の放送をさせていただきましたが、そこに職員を配置することは難しく、皆様のマナーに頼る状態となっております。また、写真やビデオ等については、あくまでも子供たちが安全に演技や観戦ができることを優先しているため、児童席側への撮影場所を作ることは難しい状況です。

### ◎「練習時間が足りていないのでは」「演目が毎年同じになるのはどうしてか」について

現在、文部科学省から授業時数の適正化が図られ（今までは1年間で各教科の必須の授業時数より多くの授業を行っていたのを、適正時数に近づけるよう指導されています。）行事のために特別に授業時間を取るのには難しい状況です。よって、運動会練習に使える時数は決まっています。体育等の時間に行っていることを取り入れて、発表する等の工夫が必要となっています。

内容に関しては、伝統となっていることや一度経験していたことは教え合えるメリットなど、様々な理由で同じ演目になることはあります。5、6年生に関しては、昨年とフラッグを使用している点では同じですが、様々なことを児童が考え、自分たちで考えた振りや移動などを取り入れていました。今は、子供たちが主体的に考え、行動できることを様々なところで意識して行っています。そうした点をもっと観ている方に伝え、評価していただけるようこちら側のアナウンスも大切にしていきたいと思っています。

また、以前もお話しさせていただきましたが、児童の得意、不得意は様々であり、運動会の競技や演技を苦手としている児童にとっては、相当な頑張りをしても難しいことがあります。そうした中で、全ての児童が達成感を味わうことができるよう、今後も指導の仕方や内容を考えていかなければいけないと思っております。

他校では、運動会も姿を変え、日頃の体育の発表会として、得点を付けず、応援団もないといった形をとる学校も出てきています。新田小学校も変えていかなければいけない状況ではございますが、できる限り保護者の皆様や地域の皆様のお声を聞きながら、残せるものは残していきたいと考えております。以前とは学校の状況も変わってきていることをご理解いただき、今後も変わらずご支援いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【★詩の暗唱】今年度も「詩の暗唱」を行っております。

1学期は、詩ではないのですが、早口言葉にチャレンジしています。保護者の方も一緒に楽しんでいただけると幸いです。

- となりの客はよく柿食う客だ。
- 裏には二羽庭には二羽にわとりがいる
- 坊主が屏風に上手に坊主の絵を描いた
- 生麦生米生卵 などです。

江戸川区立新田小学校 HP : <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/1310034>